

世界経済危機の霊的な原因

2008年11月16日 アシェル・イントレーター

エルサレム新市長

11月12日、新市長にニル・バカラット氏が選ばれたことを私たちは喜んでいますが、これは重要な霊的な勝利だと私たちは信じています。彼は成功しているビジネスマンであり、イスラエル軍では少佐で、エルサレム市再開発の指導者です。(私の二人の息子は彼の選挙活動にボランティアとして参加しました。)

選挙の間、結果は僅差になると思われました。大勢の超正統派ユダヤ人が対立候補のメイヤ・ポルシュ氏(訳注:超正統派)に投票するために動員されました。私の息子たちの一人は路上から私に電話をかけてきて、電話を通して投票が締め切られるまでの1時間祈りました。

翌日、彼は再び私に電話をかけ、奇跡が起こったといました。それは「グル・ハシディム」(訳注:正統派ユダヤ教徒の一派)が対立候補のメイヤ・ポルシュ氏のグループからバカラット氏支持へと回ったからです。報道陣は驚愕しました。息子は「まるでルカ11章の闇の王国は分裂するという御言葉通りだ。」と言いました。

エルサレム市に住む世俗派ユダヤ人、宗教的ユダヤ人、アラブ人、クリスチャンなどすべての人々のために、エルサレム市再開発を進める新市長のために共に祈りましょう。

世界経済危機の霊的な原因

多くの企業はデリバティブや連鎖型住宅ローンから巨額の利益を上げていましたが、実際の業務から利益を上げず、実際の銀行サービスを提供せず、書類上でお金を操作してきたにすぎません。そのような不公正な仕事は虚偽の利益をあげ、結果的に破綻してしまいました。

クリスチャン共同体である者は、資本主義それ自体は神の祝福をもたらすものとして十分であると誤って考えています。それは正しくありません。神の言われる種類の資本主義には誠実の基準、汚職に対する法律、そして第一の動機として寛容があることです。

さらに、ある牧師や宣教師たちは10分の1献金やその他の捧げものは自分自身のための快適な生活をもたらす手段として誤って考えています。それは正しくありません。聖書的な献金の目的は1) 教会活動を支援する、2) 世界宣教を支援する、3) 貧しく抑圧された人々を支援することにあります。

その一方で、世界中に多くの義なるビジネスマン、ビジネスウーマンたちがいます。もし彼らが自分のビジネスを神の原則に捧げるならば、貪欲や汚職と戦うならば、神の御国の優先順位に従って献金するならば、現在の世界的な経済危機に対して、彼らは大いに祝福されるでしょう。イサクが干ばつの年に種を蒔いて 100 倍の収穫を上げたように、ヨセフがエジプトの飢饉の間栄えたように、義なるビジネスマン、ビジネスウーマンたちは立ち上がって支配する時なのです。

この危機の間、神は主の民を特定の地位に置きます。富の移動、新しい配置が起こります。**箴言 13:22「罪人の財宝は正しい者のためにたくわえられる。」**聖書的な金融の2つの主要な原則は 1) 誠実、そして 2) 寛容です。内務省との2年に渡る紛争の後、私たちは最終的に新しい法や判定基準により承認を得ることに成功しました。それによって、ここイスラエルのメシアの体において、金銭的な忠実さや寛容の基準を上げることができると私たちは信じています。

世界金融の状態がどうであれ、今年は今まで以上に最高の年になると私たちは信じています。私たちは世界宣教活動への献金を増加させようと思っています。**イザヤ 60:11「あなたの門はいつも開かれ、昼も夜も閉じられない。国々の財宝があなたのところに運ばれ、その王たちが導かれてくるためである。」**私たちが多くの人の金銭的な祝福の基となることを願っています。

オバマ氏と世界宣教の機会

私たちは中絶反対および家族主義(注)に対して強力に支持します。臨月近くの中絶の合法化や同性婚を支持する判事を任命することは悲劇です。

注: pro family values の定訳はなく、「父、母、子どもたち」という基本的な家族の構図を「家族の価値」とする考えで、ここでは「家族主義」と訳しました。それは、1) 同性婚の制度化に対して反対する立場を取ること、2) 中絶に反対すること、3) 見境なく性的関係を持つことに反対すること(例えば婚前交渉や婚外交渉)などが含まれます。

イスラエル市民として、私は西洋社会が悪やイスラム教のジハード(訳注: 聖戦)の危険を非常に過小評価していることを大変憂慮しています。イスラエルの若者たちはテロの戦いの前線においてイスラエル軍の戦闘部隊で軍務に就くのです。

投票者がマケイン氏の軍における彼の愛国的な経歴に価値を置かなかつたことに対し、私は残念に思いました。報道陣はペイリン氏が悪質であると攻撃したのは、彼女がイエスに対する信仰を積極的に証したことがあったからです。

アメリカ大統領選挙はアメリカに対する神の裁き、すなわち性的不品行や金融汚職、そして教会

に対しては政府指導者のために祈らなかったことや、貧しく抑圧された者に対する配慮が欠けていたことに対する裁きとして考えられます。

しかし、神の裁きに伴って、驚くべき恵みという側面もあります。裁きを通して本物の倫理観の変化の機会もあるからです。主に対する聖なる恐れの中で私たちは歩むべきであり、主の豊かな憐れみに対して主に感謝すべきです。

主がオバマ氏と彼の側近たちを導いて下さるよう(箴言 21:1、1 テモテ 2:1-4、エレミヤ 29:7)私たちは十分な信仰を持って祈らなければなりません。議会、裁判所、軍隊、ビジネス、教育、そして報道機関において指導権を持つ人々のために祈りましょう。世界のすべての政府に対して神は霊的な権威を行使されることを覚えましょう。(ダニエル 4:17、25、32、5:21)

私たちの前には数え切れないほどの機会があります。オバマ氏の人種を越えた背景は人種間の和解への扉を開きます。黒人であり、自身がクリスチャンと呼んでいることはアメリカ、ヨーロッパ、アフリカにいる黒人たちに対する宣教の機会を与えることとなります。彼の父がイスラム教の背景を持っているにもかかわらず彼がキリスト教を「選択」したことによって、全世界のイスラム教徒への宣教の扉が開かれます。

政府が福音を述べ伝えるのではありません。それは私たちの仕事です。オバマ氏は単にアメリカの大統領になったのではありません。彼は事実上全世界の指導者となったのです。私たちが勇気と愛によって応えるならば、これからの4年から8年はリバイバルや歴史上神の御国が広がる最も偉大な期間となる可能性があります。

これらの終わりの時に、闇はより暗くなり光はより明るくなります(イザヤ 60:1-3)。迫害は増えますが、福音の布告も増えます。世界に神の裁きを警告し、同時に世界のリバイバルに対する勇敢な信仰を行使しましょう。